

早生樹を活用した次世代林業モデル創出支援事業

テーダマツの導入と先端技術を活用した「新しい林業経営モデル」を実証する優れた技術提案を募集します

事業（公募）の概要

- ・ 事業期間は、原則 3 年間
- ・ 施業地は、5 ha程度
- ・ 3 件程度を選定
- ・ 実証委員会による活動へのサポート
- ・ 実証に必要な経費を支援
- ・ 国庫補助金等を優先的に採択

テーダマツの導入

従来のスギ・ヒノキ伐期 50年



テーダマツ伐期 30年



従来より短期間で収穫が可能

R8

R9

R10

森林調査・施業の集約化

伐採・流通の効率化

再造林の省力・低コスト化

適切な現場管理



3次元地形データに基づく
植栽配置計画の作成



遠隔操作伐倒機械等で
伐倒・木寄せ



SCMシステムによる
流通の効率化



GNSS付植穴器で
位置座標を取得



Starlink等の衛星
通信サービス活用



自動運転下刈り機械
による下刈り

AIによる生産性分析

成長量調査
採食・嗜好性調査

早生樹を活用した次世代林業モデル創出支援事業 募集対象事業

取組	①森林調査・施業の集約化	伐採・造林の一貫作業		④適切な現場管理
		②伐採・流通の効率化	③再造林の省力・低コスト化	
【県指定】	高精度森林情報等を用いた資源量解析と施業計画作成	ハーベスタ又はプロセッサを用いた(伐倒・)伐木造材	グラップル・ラジコン式地拵え機等を用いた地拵え	Starlinkなど衛星通信サービス等を用いた通信環境構築と実証活動全体を通じた活用
	GNSS 測量機器を用いた森林調査・境界明確化	原木生産・納品情報システムを用いた丸太運搬	GNSS 付植穴器を用いた苗木植栽・位置情報取得	アプリ等を用いた現場管理のDX化
	路網設計支援ソフトを用いた作業道設計	末木枝条のチップ化等による有効利用	フォワーダ・ドローン等を用いた苗木・資材運搬	
	コスト算定プログラム等を用いた収支見積計算		コンテナ苗を用いた低密度植栽(標準2,000本/ha)	
【応募者提案】	3次元点群データの追加取得による高精度森林情報の補完	伐採から流通までの更なる低コスト化と安全性向上	再造林の更なる省力・低コスト化	現場管理のDX化
	林業イノベーション現場実装推進プログラム(令和4年7月アップデート版)掲載の技術リストのうち、開発、実証又は実用化レベルの技術、あるいはそれに準ずるもの			
2提案以上			1提案以上	
			1提案以上	

早生樹を活用した次世代林業モデル創出支援事業 令和8年度スケジュール

